

「定額給付金」の申請期限は9月10日(木)、
「子育て応援特別手当」の申請期限は9月17日(木)です。

期限を過ぎての申請に対しては、給付できません。
申請忘れにはくれぐれもご注意ください。

定額給付金本部 ☎21-6946
少子対策課 ☎21-6604

出雲市役所の代表電話番号

- ◆本 庁 TEL 21-2211
- ◆平田支所 TEL 63-3111
- ◆佐田支所 TEL 84-0111
- ◆多伎支所 TEL 86-3111
- ◆湖陵支所 TEL 43-1212
- ◆大社支所 TEL 53-4444

お知らせ

お知らせ

出雲市職員採用試験 医療職 (総合医療センター勤務)

- 試験区分/看護師(若干名)、薬剤師(若干名) 【経験者採用枠】看護師(若干名)
- 試験日/10月18日(日)
- 申込期間/9月7日(月)~10月2日(金)
- 申し込み・おたずね/市立総合医療センター病院管理課(☎5111)

大規模小売店舗立地法に基づいた届出の縦覧

- 大規模小売店舗立地法に基づいた届出書を縦覧しています。周辺環境保持の見地から、誰でも県へ意見を述べる事ができます。
- 届出店舗/①メガセンタートライアル出雲店・デパートパオ(今市町)、②平田ショッピングセンターVIVA(平田町)

市政広報番組

- ケーブルテレビ番組 『21世紀出雲市政のひろば』 毎月テーマを決めて30分番組を放映
・出雲ケーブルビジョン アナログ(5ch) デジタル(11ch) ・ひらたCATV(5ch)
- ラジオ市政広報番組 『出雲市からのお知らせ』 週替わりで、市からの告知放送(20秒) ・FMいずも(80.1メガヘルツ)

早川光氏の元気が出る講演

- 縦覧期間/①11月24日(火)まで、②11月27日(金)まで
- ところ/おたずね/商工振興課
- とき/9月20日(日)13時~15時30分
- ところ/ビッグハート出雲
- 内容/認知症をテーマにした、総合人間研究所所長の早川一光医師による講演
- おたずね/介護保険課

老人週間の県立施設 無料開放

- 対象施設/ゴビウス、しまね花の郷、古代出雲歴史博物館など 県立施設8施設
- 対象/満65歳以上の方(昭和19年12月31日以前に生まれた方)
- ※対象者の確認のため、入館時に健康保険証や運転免許証の提示が必要な場合があります。
- とき/9月15日(火)~21日(月)・(祝)
- ※しまね花の郷以外は15日(火)休館日

動物愛護週間

- おたずね/県高齢者福祉課(☎085226996)
- 9月20日(日)~26日(土)は動物愛護週間です。
- 【動物愛護写真展】
- とき/9月21日(月)~23日(水)・(祝)
- ところ/ゆめタウン出雲2階連絡通路
- 【犬・猫の譲渡会】
- とき/9月19日(日)9時30分~11時30分
- ところ/出雲保健所東側車庫
- 【共通】
- おたずね/出雲保健所動物管理グループ(☎28788)

がんに関する市民公開講座

- とき/9月12日(日)13時30分~17時
- ところ/ビッグハート出雲
- 内容/がん医療について考える講演会とがんに関する質疑応答
- おたずね/島根大学医学部附属病院腫瘍センター(☎22308)

LDの挑戦! 個性を伸ばして生きる

- とき/10月10日(日)13時30分~16時
- ところ/地域交流ホーム(つどい)(ハートピア出雲北隣)

募集

県営住宅入居者

- 募集団地/天神団地、小山団地、灘分団地、小境団地
- 申込期限/9月14日(月)必着
- 抽選/10月上旬
- 入居予定/10月下旬
- 申し込み・おたずね/島根県住宅供給公社出雲管理事務所(☎231591)

市民活動支援事業 稗原森のコンサート

- 内容/学習障がいなど発達障がいへの正しい理解を求めて活動している大橋広さんの講演会
- 参加料/500円
- 申込期限/9月30日(木)
- 申し込み・おたずね/ハートピア出雲(☎2720)
- 内容/学習障がいなど発達障がいへの正しい理解を求めて活動している大橋広さんの講演会
- とき/9月26日(日)18時30分~20時30分
- ところ/石畑多目的広場(稗原町)
- 内容/熱田修二さんによるトランプ演奏など
- チケット代/大人1,000円、中学生500円、小学生以下無料
- おたずね/稗原コミュニティセンター(☎0001)

食育 だより

地産地消のすすめ



地元の食材を 食べましょう!!



「多伎いちじく館」の地元の農林水産物 直売コーナーの様子

自分の住んでいる地域で生産されたものをその地域で消費する「地産地消」。昨年12月に市が実施した「食育に関するアンケート」では、「地産地消」について、言葉もその意味(内容)もよく知っているという人は74.0%でした。

地元産の農産物の購入状況と、農産物を購入するとき何を重視しているかを表したのがグラフ①②です。40.9%の人が、日頃から地元産の農産物の購入を心がけ、43.2%の人が店頭で地元産のものがあれば購入していると答えています。また、農産物を買うとき重視する点としては、鮮度、国産、

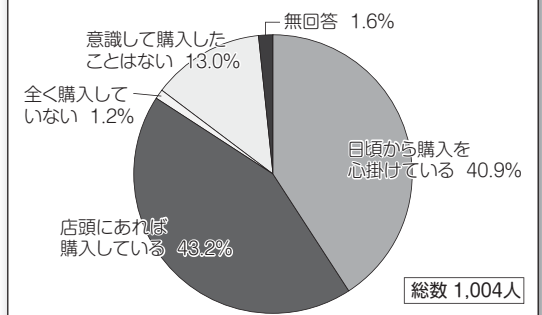
値段、旬・季節が上位を占めました。

地元の農林水産物は、産直市場やスーパーの地場産品コーナー、土日に開催される朝市などで買うことができます。また、島根県が設定している毎月第三金・土・日曜日の「しまね・ふるさと食の日」には、協賛のスーパーや小売店などでは、特設コーナーを設けたり、キャンペーンを行ったりしているところもあります。ぜひお出かけください。9月に入り、そろそ

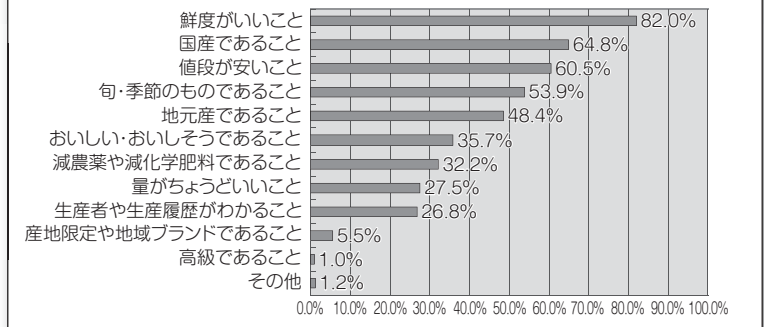
地産地消はなぜいいの

- ①季節ごとに新鮮な旬のものを味わえる。
- ②生産者がわかり、農産物等を身近に感じることができる。
- ③生産者と消費者の距離が近く、生産者は消費者の意見を直接聞くことができ、生産する上で参考になる。
- ④地場産品を扱う朝市やイベントの開催は、賑わいを創出し、地域の活性化につながる。
- ⑤輸送にかかるコストや燃料が少なく、環境にやさしい。
- ⑥地元で生産したものが地元で消費され、地域経済が活性化する。
- ⑦地域の伝統的な食材や料理を見つめ直し、受け継いでいくことができる。

グラフ① 【地元産の農産物の購入状況】



グラフ② 【農産物を購入する時に重視すること(複数回答)】 総数:989人



●おたずね 食育推進室 ☎21-6829